



★ サッカーの次はラグビーだ！ 7人制ラグビーの魅力

サッカーW杯・ロシア大会では、いろいろ感動的、あるいは衝撃的なシーンを見せてくれました。我が日本チームも、対ベルギー戦における終了間際の逆転シュートを浴びて大変悔しい思いを致しましたが、これから4年後に向けて、この経験を活かしていくことを期待しましょう！

そして次に控えているものは、何と言っても来年のラグビーW杯です。我が国が、開催国としての意地を見せられるか、その真価が問われようとしておりますね。しかし、その前に多くの国民にラグビーに関する関心や理解を深めてもらわなければなりません。そこで今回取り上げたのは、「7人制ラグビー(通称:セブンズ)」です。

通常ラグビーと言えば、15人制を想定されるかもしれませんが、7人制ラグビーの歴史も古く、遡って1883年にスコットランドで考案されました。日本では、昭和5年にラグビー大会が開催され、さらに平成5年以降、このW杯に出場しております。ご存知の通り、今では夏季オリンピックの正式種目として採用されております。

15人制と同じフィールド、そしてルールですが、試合時間は7分ハーフ・休憩1分です。この7人制の特徴は、少ない人数でボールを動かすパスが重要。ですからボールのハンドリングの技術、走るスピード、広いフィールドを少人数で守る体力が不可欠となっております。15人制はもとより、是非こちらのエキサイティングな競技にも注目して下さい！

【7人制と15人制のルールの比較】

内容	15人制	7人制
グラウンド	100m×70m	100m×70m
人数	FW8人・BK7人	FW3人・BK4人
スクラム	8人	3人
試合時間	40分ハーフ	7分ハーフ
ハーフタイム	15分以内	2分以内
交代人数	8人まで	5人まで
試合再開	トライされたチーム	トライしたチーム
シンビン	10分	2分以内

【7人制ラグビー・ポジション】



今月の

水戸まさし応援団

「せいりか」

「盛夏」、8月15日の終戦記念日を迎えるたびに平和を享受できる日常に感謝し、空襲警報、疎開といった言葉が死語となった平和のありがたさをつくづく思う。米朝首脳会談の挑戦半島戦争終結はどうなっていくのだろうか？日朝首脳会談の「成果」は拉致問題の解決であってほしい。

国会では、カジノ整備法案が十分審議が尽くされたとは思えない数の力で可決した。唐突ながら米国の刑事ドラマ「容疑者」、01年作品でのロケ地はニューヨーク海辺の町のカジノ施設廃墟であった。

観光客誘致で経済効果を掲げるかも知れないが、負の連鎖も起こりうることを忘れてはならない。政府は、財政健全化を目指す目標をさらに5年延ばして25年まで先送りを決めた。今の政権では一歩も進まず、保身優先、財政再建の負担は次世代に背負わせることになる。都合の悪いことには蓋をし、数の力で押し切る政権はいかなるものか。

「臍下」丹田、現状を打破するには新たな選択をする勇氣も必要。地域に寄り添い次世代を念頭に地道な活動を続ける水戸さんに国政を託したいとの思いがさらに強くなった。

水戸まさし応援団

Mチーム 益田 正廣

◆事務所

〒245-0008

横浜市泉区弥生台26-6

TEL:045-814-3001 FAX:045-814-3007

メール:kickoff310@gmail.com

◆HP: <https://www.kickoff310.com/>

◆Face Book:「水戸将史」で検索

◆Twitter: @mito_kickoff

◆メルマガ:登録はHPから